

HOTEL SAKURAI

Recruiting Information

大地に根を張る一本桜のように。





とうとう湧き出た湯が滝のように流れる「湯畑」は、自然湧出量日本一を誇る草津温泉のシンボル。湯畑源泉から湧出した高温湯を樋によって加水することなく、適温まで下げて各旅館に供給しています。湯煙がもうもるとなびく湯畑周辺には硫黄の匂いが立ち込め、古き良き温泉情緒を醸しています。夜になるとライトアップされ、一段と幻想的な光景が広がります。

泉質は、1円玉を温泉に漬けておくと1週間ですべて溶けてしまうほどの強い酸性。殺菌力に優れ、恋の病以外ならどんな病も治るといわれた薬湯です。但し、浴室を傷めてしまうため、各家庭に温泉は引かれていません。地元で管理される19の共同浴場が、町民や湯治客の憩いの場となっています。

温泉の歴史は古く、いつ頃発見されたか詳細は不明ですが、大和武尊や行基、源頼朝の開湯伝説が今に伝わります。書物としては、文明4(1472)年、本願寺法主蓮如が湯治に訪れたという記録が残し、鎌倉時代の「曾我物語」「吾妻鏡」にも草津温泉の名が記されています。戦国時代になると傷を負った多くの武将が湯治に訪れ、江戸時代に街道が整備されたことにより、ますます人々の往来が増加。「草津千軒江戸構え」といわれるほどの賑わいをみせ、年間1万人を超える来浴者で賑わったことが浮世絵や川柳、湯治の日記などに見ることができます。

草津温泉の名を世界に広めたのは、明治9(1876)年にドイツから政府の招きで来日したエルヴィン・ベルツ博士です。東京医学校(現在の東京大学医学部)で教鞭をとる傍ら、明治天皇の主治医を務めました。博士は明治11年頃より草津温泉に数回訪れ、温泉を分析して正しい入浴法を指導するとともに、「草津は高原の保養地として最も

適地である。草津には優れた温泉のほか、日本でも最上の山と空気と全く理想的な飲料水がある。こんな土地がもしヨーロッパにあったらどんなににぎわうだろう」と称え、世界無比の高原温泉であることを世界に宣伝しました。草津町はその恩顧に報いるべく、昭和9年、西の河原にベルツ博士の顕彰碑を建立。博士の生誕地であるピーティッヒハイム・ビッシンゲン市と姉妹提携を結びました。

草津温泉は、標高1,200メートルの高原に位置しています。春はミズバショウやジャクナゲが開花し、夏はサギソウやキスゲなどの高山植物が咲き乱れます。真夏でも25℃を上回ることは少なく、避暑地として最適な気候に恵まれています。秋は白根山の山頂から紅葉が始まり、広葉樹林の多い高原ルートは真っ赤に色付くナナカマドや黄色が映えるダケカンバが山肌を美しく染めます。冬はスキーやスノーボードなどのウインタースポーツで賑わいます。

草津温泉の周辺は、上信越国立公園に指定されています。近隣には浅間高原、四万温泉、川原湯温泉、浅間山、鬼押し出し園など、人気の観光スポットが点在。別荘地として有名な軽井沢にも近く、草津はこれらの観光名所を結ぶ交通の要衝となっています。北陸新幹線の開業により首都圏や北陸方面へのアクセスが良好になった軽井沢駅へも、草軽交通路線バスで乗り換えなしでアクセス可能です。

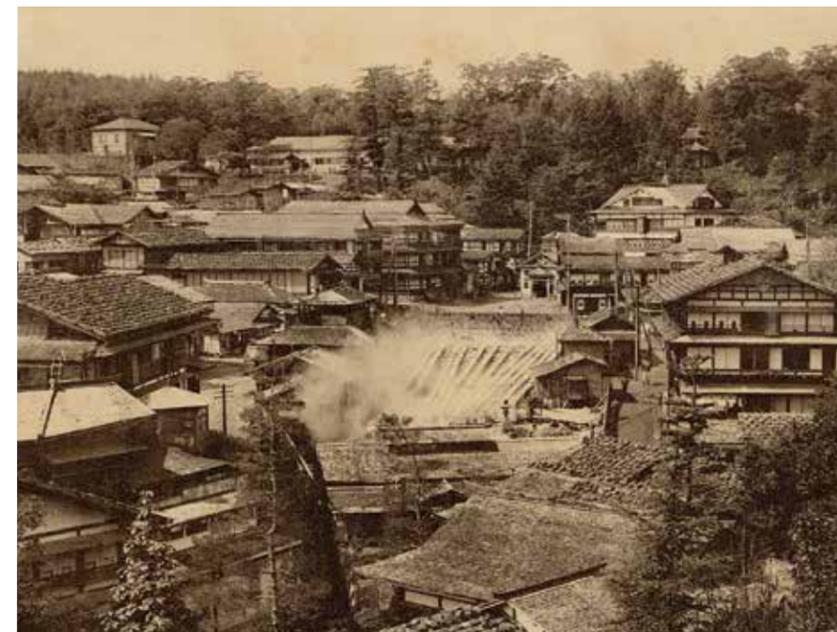
日本が誇る名湯、草津温泉

KUSATSU ONSEN



豊富な湯量と優れた泉質で、温泉地の人気全国一位に輝く草津温泉。

開湯から1200年という長い歴史と伝統の中で、
多くの湯治客の傷や病を癒してきました。



湯畑周辺には旅館や土産店が建ち並び、今も昔も草津温泉一の人気スポット。湯畑中央には、かつて徳川将軍のために湯を樽に入れて江戸城まで運んだといわれる將軍御汲湯の湯桶が残ります。



「草津よいとこ〜一度はおいで〜」の草津節を唄いながら、湯もみ板で湯をかき回して温度を下げる伝統的な「湯もみ」の光景。現在でもショーとして受け継がれています。



草津温泉にあるほとんどの源泉が50℃以上の高温で、山の中に湧く万代鉱源泉にいたっては95℃とあまりに高温のため温度を下げています。その過程でできる真湯を町内に給湯したり、公共施設の暖房や道路の融雪のためにも有効活用しています。

草津温泉に 新しい時代の 幕開け

ホテル櫻井の歴史は ここから始まった

ホテル櫻井の歴史を語る上で欠かせないのが、そのルーツとなる櫻井酒造店の存在です。清らかな水と上質な酒造好適米の産地である長野原町で、江戸時代末期の寛政年間に創業し、以来220年近くの歴史を刻む由緒ある酒蔵です。初代経営者の櫻井傳三郎は、酒造業経営の傍ら長野原町の初代町長に就任し、地域行政にも大きく貢献しました。

第2代の櫻井武は個人企業の櫻井酒造店を浅間酒造株式会社として経営規模を拡大。父の傳



三郎と同じく長野原町町長に就任し、観光開発や治山・治水事業、簡易水道の普及や教育の振興などに力を注ぎました。

第3代の傳次が「株式会社草津白根観光ホテル櫻井」を草津温泉に創業したのは1964年のことです。温泉を求めて全国から集まる宿泊者に自慢の酒を広めたいとの強い想いを叶えるため、酒造業での蓄えと土地を売却した資金を基にホテル業への参入を決意。長野原町に隣接する温泉で全国的に有名な草津町に、鉄筋4階建て400人

収容のホテルを建設しました。その後、宿泊需要の拡大に伴い、1976年には大規模な増築を実施。これにより収容人数は創業時の倍となる800人へと増加しました。1979年には新館を増築し、最盛期には収容人数1,200人を誇る大規模ホテルに規模を拡大。年間宿泊者も草津温泉内のホテルで最大となる20万人を突破し、草津温泉最大のホテルへと成長を遂げました。

1987年に第4代の芳樹が浅間酒造の代表取締役社長に就任すると同時に、浅間酒造観光センターの運営にも力を入れ、1998年には新観光センター施設を竣工。地域の有力な観光スポットの一つへと発展させました。

グループの中核を担う「浅間酒造株式会社」からスタートした弊社は、観光ホテル経営やドライブイン経営、酒類の販売や銘菓の製造を手掛ける「榛名酒販株式会社」、地域交通を支える「浅白観光自動車株式会社」など、様々な関連企業を生み、相互に連携を図りながら堅実に経営を続けてきました。今後も地域に根ざした経営を進め、この地で力強く咲き続けるためにたゆまぬ努力と挑戦を続けてまいります。



創業前のイメージパース

沿革

寛政年間	長野原町大津で酒造業を創業(江戸時代末期)
昭和38年 5月	草津白根観光ホテル櫻井設立
昭和39年 5月	草津白根観光ホテル櫻井創業(収容人員250名) 櫻井傳次社長就任
昭和40年 5月	政府登録旅館となる(旅 564号)
昭和51年 6月	客室増設(本館と西館の2棟)収容人員800名
昭和54年10月	新館増設(本館・新館・西館の3棟)収容人員1,000名
平成 7年 5月	西館を取り壊し、新客殿を増設、収容人員1,200名 特定政府登録国際観光旅館に昇格
平成18年 5月	露天風呂付き客室改装のため収容人員933名に変更
平成21年 3月	櫻井綾夫社長就任
平成26年 3月	櫻井芳樹社長就任
平成26年 5月	創業50周年を迎える
平成28年12月	客室2室改装(ハリウッドソイン)
平成29年 2月	客室6室改装
平成30年 3月	客室4室改装(コンフォート和洋室)
令和 2年 6月	女性用露天風呂改装
令和 3年12月	客室4室改装
令和 4年 6月	収容人員929名



凱旋門を模したゲートやシャンデリアなど、絢爛豪華な装飾を施した宴会場。



天皇御一家浅間牧場御見学(昭和32年)。御説明役は先々代社長・長野原町長の櫻井武(右)と、当時の群馬県知事の北野重夫氏(右から2番目)。



当時はまだ珍しかった鉄筋4階建てのホテルの前で。宿泊客を別れのテーブルで見送るホテルスタッフ。

名湯にふさわしい湯宿



社長挨拶

大地に根を張る一本桜のように

歴史と伝統を誇るこの草津の地に根をおろして半世紀、おかげさまで草津白根観光ホテル櫻井は、創業50周年の節目を迎えることができました。これもひとえに皆さまの絶大なご支援とご高配の賜物と、心より厚く御礼申し上げます。

弊社は創業以来、「地域とともに歩み、地域に貢献する」を理念として、酒造業から製造販売、観光業など多角的・総合的に地域ビジネスを展開してまいりました。

弊社が歩んできましたこれまでの道のりは、決して順風満帆ではなく、数々の苦節を乗り越えて今日に至ります。

社内ITインフラや周辺観光のための二次交通網の整備、年々増加する外国人観光客への対応など、まだこれから取り組むべき課題は山積しております。

大地にしっかりと根を張り、齢を経るごとにみごとな枝振りを広げる一本桜のように、社員一人ひとりの知恵と創意工夫を結集して地域のシンボルとなるホテルを目指します。また、これまで築き上げてきた伝統を継承しながら、お客様のニーズに合う最適なサービスを真心込めて提供してまいります。

ホテル櫻井は、地域の雇用を創出し、経済の活性化に貢献し、観光振興を図ることが地域の発展のために欠かせないという信念を貫き、グループ会社との連携を図りながら地域の活性化のために微力ながらも一層の力を尽くしていく所存であります。これからも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

草津白根観光 ホテル櫻井
代表取締役 社長

櫻井 芳樹



草津温泉最多の収容人数を 誇る、癒しの空間

雄大な白根山の麓、草津温泉中央高台に当ホテルは位置しています。草津温泉街のシンボルといえる湯畑にもほど近く、2015年5月にリニューアルオープンしたばかりの草津温泉最大の露天風呂、「西の河原露天風呂」にも徒歩圏内です。

館内はエントランスから広々とした空間で、フロント横には湯畑を再現するなど、和の風情溢れる趣のあるしつらえが特徴。約500名様をご利用いただける大宴会場を始め、大小35箇所のパーティー会場・会議室、売店、和食処、クラブ、カラオケボックス、ゲームコーナー、屋外プールなどを備えています。

お料理は上州牛のしゃぶしゃぶと、地元契約農家の地野菜などをふんだんに使った和食会席膳か、目の前で調理された握り寿司や天ぷら、ローストビーフなど和洋中バイキング約120種類をお楽しみいただけます。

宿泊客にとりわけ評判なのは、100%源泉かけ流しで草津温泉最大級の大浴場。万代鉦・西の河原の混合源泉で、露天風呂の「わたの湯」と泉質の違いが楽しめます。館内中央のお祭り広場では、連日草津名物の湯もみショーや盆踊り、迫力のある櫻太鼓などアトラクションを開催。草津温泉ならではの「おもてなし」が感じられると皆様から好評いただいています。





INTERVIEW

先輩から引き継がれる きめ細やかな接客サービス



先輩の声

REAL VOICE
01



フロント係/2019年入社
鵜澤 夏音 Kanon Uzawa

■プロフィール
出身地：群馬県
趣味：音楽を聴くこと・ダンス
休日の過ごし方：実家で愛犬と遊ぶ

人と関わる仕事がしたいと考えていたところに母からホテル櫻井を勧められました。私の性格をよく知る母は「この子は接客業に向いている」と早くから思っていたようです。

群馬県内には草津、伊香保などの温泉地がありホテルや旅館も多いですが、その中でもホテル櫻井は群馬県民にはよく知られる有名どころ。高校への求人情報から当ホテルを見つけ、母と企業見学をしました。建物の設備や雰囲気、社員寮などを一緒に見た母は「ここなら我が子を任せることができる」と安心したようです。

社員寮での生活はプライベートが確保された快適なものです。入社1年目は3人部屋で、2年目からは1人部屋になります。終業後、ホテルの大浴場にゆっくり入れるところも気に入っています。

仕事では「周りを見て行動すること」「笑顔で対応すること」「困っているお客様にいち早く声を掛けること」を心掛けています。チェックインの時間帯など込み合うときは周りにも気を配り、困っておられるお客様を見つけたら自らかけつけたり、他のスタッフに対応してもらおうよう頼んだりしています。お客様の中には初めて訪れた地で戸惑っている方もおられます。不安を

少しでも早く解消して楽しい時間を過ごしていただけたらと思います。

お客様とのエピソードで今でもよく覚えているのは、チェックインからお部屋までの案内と説明がすべて終わり「不明点はございませんか？」とお尋ねしたところ「わからないところは何もなかった。完璧な説明だったよ!」と答えが返ってきたときのこと。お客様の喜びが表情や言葉から直接伝わる経験でもありました。

楽しく仕事ができている理由の一つに先輩のアドバイスやフォローがあります。ロビーが混雑してガヤガヤしているときは声のトーンは高めにし、年配の方や音が聞こえにくいお客様には低めのトーンにしてゆっくり大きな声で話すなど、細やかな配慮も先輩が一つひとつ教えてくれたことです。マニュアルに書いてありませんが、日々の仕事で役立っています。

これからは新しいサービスを積極的に見つけていきたいと思っています。例えば、ホテル櫻井の魅力をもっとたくさんの人に知ってもらうためにSNSを使って発信するなど、できることから始めたいです。



お客様に草津の観光スポットなどを聞かれることもあるので、観光パンフレットを見ながら覚えてたりしています。



お客様に積極的に話しかけて会話をすることで、いろいろなことに気付けるようになりました。コミュニケーションの大切さを感じます。

[ある一日の仕事]

フロント係

- 7:00
- 出社
- 精算・チェックアウト業務
- 10:30
- 中抜け
- 昼食
- 休憩
- 14:00
- チェックイン業務
- 19:00
- 退社

Holiday Life

同じ日に休みが取れた先輩と出掛けることが多いです。映画を観に行ったり、アウトレットへショッピングに行ったりします。先輩の実家が近くにありBBQに誘ってもらったことも。連休は実家に帰り、愛犬のヨークシャテリアと遊びます。





INTERVIEW

たくさんの人と接することで 見えてくる仕事の奥深さ



先輩の声

REAL VOICE
02



料飲サービス部 / 2019年入社

遠藤 聖樹 Satoki Endou

■プロフィール
出身地：山形県
趣味：寝ること・アニメ鑑賞
休日の過ごし方：動画を見る、食べ歩き

学生の頃は内気なところがあり、親しい友人にしか話しかけることができずにいました。「いろいろな人とコミュニケーションが取れたら楽しいだろうな」と一念発起し、たくさんの人と接することができるこの業界に飛び込みました。毎日、さまざまな地域の幅広い年齢層の方と接するうちに苦手意識はなくなり、誰に対しても気負いなく話かけられるようになりました。

仕事にも慣れてきたこの頃は、スタッフに何か聞きたそうにしているお客様を見つけるのも早くなってきました。当ホテルのバイキング会場はかなり広いので、迷ったり困ったりしているお客様が必ずいます。人に話しかけることに臆病だった以前の自分を思い出し「何かお困りですか」と声を掛けずにはいられません。せっかく草津温泉まで足を運んでくださっているお客様に有意義な時間を持っていただくことが何よりのサービスだと思っています。

ゴールデンウィークなどの大型連休はたくさんのお客様が来られます。充実したサービスが行き渡るようにするにはスタッフの工夫が必要です。このようなとき、上司や先輩が口をそろえて言うのは「自分がお客様ならどうしてほし

い？」です。上司や先輩は接客業のプロフェッショナル。どうすればスタッフが自ら進んでサービスの向上に努めてくれるのかを熟知していて、いつもの確かなアドバイスで助けてくれます。

私は今、料飲サービス部でさらにステップアップをするため、会場の料理の置き方やスタッフの配置など全体をコントロールする練習をしています。オープンからクローズまですべての指示を出す役割です。お客様だけでなくスタッフにも目を配らなければならない難しいポジションですが、とてもやりがいを感じます。このような責任ある仕事の練習ができるのも当ホテルだからこそ。いつでもフォローしてもらえる状況で練習ができるのはありがたいことです。

今後の目標はお客様の楽しい思い出作りに貢献すること。当ホテルの施設や設備環境による満足感だけでなく、スタッフ一人ひとりが工夫を凝らして提供しているサービスでよい時間を過ごしてもらいたいです。草津温泉の思い出として「こんないいホテルがあったよ」と語るお客様から友人・知人に評判が広がり、「友人に勧められて来たよ」と当ホテルを訪れる方が増えるといいなと思っています。



配膳業務は単調に見えますが、向かいの席と対象に見えるようにと気をつけながら配膳しています。早く並べることも大切です。



顔を覚えてもらって「また、遠藤さんに会いに来ます」と声を掛けてもらえることもあります。そんな時はこの仕事でよかったなと思います。

[ある一日の仕事]

料飲サービス部

7:00

- 出社
- 会場オープン
- お料理出し

10:00

- 中抜け
- 昼食
- 休憩

16:00

- 出社
- 会場準備
- オープン
- お料理出し

21:30

- 退社



Holiday Life

休日は先輩と食事に行ったり飲みに行ったりします。先輩はいつも絶妙なタイミングで誘ってくれるんです。連休が取れたら愛車のBOXYで遠出をすることも。仲のいい先輩と実家のある山形に行き、食べ歩きしたときは楽しかったです。



INTERVIEW

お客様の喜びを一番近くで感じられる仕事



先輩の声



料飲サービス部/2017年入社
五十木 小桃 Komomo Ikarugi

■プロフィール
出身地：群馬県
趣味：音楽を聴くこと
休日の過ごし方：レンタカーで友達とお出掛け

小学生の頃、家族旅行で泊まった旅館のおもてなしがすばらしく、とても楽しい時間を過ごせた思い出があります。宿泊者を満足させると同時に、自分たちも生き生きと明るく働くスタッフがかっこよくて憧れました。その時の体験からホテル業界への就職を希望しました。

私の仕事は主にバイキング会場や宴会場で給仕をすることです。あのとき、私を明るい笑顔で出迎えてくれた旅館のスタッフみたいに、すてきな思い出作りのお手伝いができるようにがんばっています。

草津温泉で最大規模を誇る当ホテルのバイキング会場は毎日、何百人ものお客様が利用されます。忙しくて気持ちの余裕がなくなりそうなきもありませんが、「あ、こもちゃんだ!」とか「宴会でお世話になったね。ありがとう」と親しみを込めて声を掛けてもらえるのが元気づけられます。打ち解けて下さるのは楽しんでいただいている証だと思っているので、お客様から話しかけられたり笑顔を向けられたりすることが私にとって何よりのご褒美になります。

入社してよかったと思うのは、社員同士の仲がよく、厳しい上下の関係もないので相談しや

すい雰囲気があるところです。尊敬する上司や先輩は、がんばっている人をちゃんと見ていて「疲れは溜まっていない? 休暇を取ったら?」とさりげなく気遣いながら、その努力を認めてくれます。さらに、私たち部下の長所を見つけてそれを生かせるように育ててくれます。一人ひとりの個性をじっくり観察して見極めないといけないことですが、人と接する仕事のプロフェッショナルだから誰に対しても気遣いができるようになるのだと思います。

研修中にグラスを落としてしまい片付けに手間取ったことがあるのですが、研修指導の先輩に「ミスはフォローできないのは周りの責任でもあるし、指導者の責任でもあるから自分を責めないで」と言われ、精神的にすごく救われた経験があります。

私にも後輩ができて、教えたりフォローしたりする側になってきました。みんなで協力し合える明るい雰囲気作りを努めて、もっと質の高いサービスを目指したいと思います。自分たちが生き生きと働けるホテルでなければ、お客様の笑顔も引き出せませんから。



バイキング会場ではいろいろな仕事があります。お客様を席に案内したりドリンクを運んだり。ビールのつぎ方はとっても上手になりました。



着物を着ての仕事は凛としてちょっと背筋が伸びた感じ。ちょっとした所作にも気をつけてながら仕事をしています。

[ある一日の仕事]

料飲サービス部

7:00

- 出社
- 宴会セット
- グラス洗浄
- グラスふき

10:00

- 寮に帰宅

● 昼食

● 休憩

16:00

- 出社

● 宴会準備

18:00

- 宴会接客業務

20:00

- 片付け

21:30

- 退社



Holiday Life

同期の友達と休みを合わせてショッピングに出掛けます。みんなで運転を交代しながら高崎市まで行き、好きなブランドのお店を回ったり、スタバに寄ったりして過ごします。今度、一緒に行く予定の後輩が楽しみにしてくれていて、めっちゃうれしい!!





INTERVIEW

「人」と「設備」に恵まれ 成長を実感できる職場

先輩の声

REAL VOICE
04



子どもの頃、台所で母を手伝っているうちに自分でも料理を作れるようになりました。家族が「おいしい」と言ってくれるので、ますます作るようになり、学生時代はクッキーやケーキを作っては友達に配り食べてもらっていました。もともとプラスチック・モデルの作成などモノづくりが好きでしたが、人に喜んでもらえる料理に一番はまっていきました。

「調理師になりたい」という希望を持って始めた就職活動でホテル櫻井の「調理師見習い募集」の求人を見つけました。料理の勉強をしながら働けるのは私にぴったりだと思いに応募。当ホテルでの食事はすべて調理部で作るので幅広いジャンルの料理を学ぶこともできます。

料理は味付けや盛り付けも大事ですが、食べる人の安全が第一。まずは食材の管理や食品衛生についての基礎を学びます。調理現場での実務経験を2年間積み、すぐに調理師免許を取得しました。調理師試験の勉強は、先輩や上司が教えてくれたり、相談に乗ってくれたりしますし、調理設備や道具、食材などの調理を学ぶためのあらゆる環境が整っていたためとてもスムーズでした。

職場について感じるのは「人に恵まれた環境」であること。間違ったことをすれば叱られますが、知識不足による失敗はとがめることなく正してもらえます。上下関係は厳しくても尊敬する気持ちがあるので人間関係は良好です。

調理部は料理を作るだけのところと思われがちですが、バイキングの「演出」といってお客様の目の前でオムレツを焼いたり、魚をさばいたりするパフォーマンスの仕事もあります。私もオムレツや天ぶらの演出に何度も上がりました。「おいしい」「ありがとう」などお客様の声を直接聞けて、やる気アップにもつながる貴重な機会となっています。演出に上がり始めた頃は緊張しっぱなしで、笑顔を作る余裕などありませんでしたが、不安が消えるまで何度も練習させてもらったので乗り切ることができました。今はにぎりの演出に挑戦中。早くきれいに作れるようになるまで練習あるのみです。

ホテル櫻井のバイキングは品数の多さが一番の魅力。好きな食べ物だけでなく、普段はあまり食べられないような料理を試してもらいたいと思います。どの料理も心を込めて作っている自信作ですから。



調理部/2019年入社

渡邊 涼 Ryo Watanabe

プロフィール

出身地：長野県
趣味：推理小説を読む
休日の過ごし方：映画館に行く、アウトドアレジャー



バイキング会場のオープンキッチンで握りずしのパフォーマンス。お客様の声が直接聞ける貴重な機会です。



煮方の味付けを任せてもらえるように勉強中。親父さん(料理長)から学ぶことがまだまだあります。

[ある一日の仕事]

調理部

- 5:30 _____
- 出社
- 6:00 _____
- 朝食準備
- オムレツの演出
- 夕食の仕込み
- 9:30 _____
- 中抜け
- 昼食
- 休憩
- 15:00 _____
- 出社
- 夕食の準備
- 翌日の朝食の仕込み
- 20:30 _____
- 退社



Holiday Life

休みの日はふらっと映画館に行き、普段なら選ばないようなジャンルのものを鑑賞します。新しい発見があって面白いですよ。
連休が取れると地元の友達に会いに実家に帰ります。オンラインゲームで一緒に遊んでいても、直接会える貴重な機会です。



社員が元気になると 職場は明るく活気に溢れる

社員一人ひとりがイキイキと元気であり続けるために

ホテル櫻井では、多くの笑顔の花を咲かせようというキャッチフレーズのもと、スマイルキャンペーンを2014年から実施しています。従業員は「笑顔咲くらい」というネームプレートを胸に掲げ、お出迎えや接遇、お見送りなどの際に笑顔を意識した接客を心掛けています。ぜひ当ホテルで多くの素敵な笑顔と出会ってください。

また、顧客サービス向上のための研修も兼ねて、毎年5月頃に1泊2日の社員旅行を実施しています。過去の実績は、かみのやま温泉(山形県)、月岡温泉(新潟県)、稲取温泉(静岡県)、和倉温泉(石川県)などの有名旅館・ホテルで、過去4年連続で実施。参加した社員からは、「日本でトップレベルのおもてなしに触れて感動しました。この経験を日常のサービスに活かしたい。」「サービスを提供する側から受ける側になり、多くの気づきを得られました」などの声が寄せられています。

より良い職場環境を目指すために社内でも実施した「おもてなし研修」では、全社員が知恵を絞り、職場改善やお客様に喜んでいただけるサービスなどのアイデアが930件も挙がりました。社員一人ひとりが考え、行動できる風通しの良い組織を目指して改革を進めています。その他にも、社員のやる気に応え、スキルアップを図るための「英会話研修制

度」、「料理コンテスト」なども導入し、お客様により良いサービスが提供できるように努めています。

スポーツを通じた交流活動として、毎年9月にはグループ会社の浅間酒造と「軟式野球の対抗試合」を実施。これまでの戦歴は五分で、毎年熱き戦いを繰り広げています。試合後の慰労会も恒例行事となりました。

また、冬場は目の前がゲレンデという好立地を活かしたアウトドアスポーツが特に盛んです。楽しく笑顔あふれる活動を通して、部署の垣根を越えた社員間の親睦・交流を深めています。ホテル櫻井の公認サークルは下記の通りです。

【主なサークル活動】

- ゴルフ愛好会
近隣のゴルフ場で毎月開催。
- トレッキングサークル
尾瀬湿原や白根山トレッキングなどを実施。
- ウィンタースポーツサークル
スノーボードなど若手メンバーを中心に活動。
- ダーツクラブ
ホテル内のダーツバーなどで活動。

社員寮(男子寮、女子寮、家族寮)も完備していますので、遠隔地から入社される方も安心して働くことができます。寮内には社員食堂(1食200円)も完備していますので、食事の心配もありません。他にも若手社員が結婚後も安心して働けるように、仕事と育児が両立できる環境づくりを進めています。



そして次代へ



若い力と行動力で、次代を拓く

敗戦から立ち直り、右肩上がりの経済成長が続いた戦後の日本。1964年、アジア初となる東京オリンピックの開催は悲願の国家事業といわれ、この年までに新幹線と首都高を開通させるという偉業を成し遂げました。そんな東京オリンピック開幕と時を同じくして、「株式会社草津白根観光ホテル櫻井」は誕生しました。戦後の混乱期を脱して高度成長期へと突入すると国民の所得は増加し、観光地で余暇を過ごす人も増え、スキー場や温泉地にもぎわいを見せるようになりました。いわゆる国内旅行ブームに乗って当ホテルも成長・拡大を続けてきました。

しかし、半世紀のうちには未曾有の出来事もありました。1991年のバブルの崩壊や2008年秋のリーマンショック、さらには2011年春の東日本大震災を経験。特に3.11以降は予約キャンセルが相次ぎ、宿泊客がピーク時の4割も減少しました。こうした厳しい局面も社員が一丸となって乗り越えて現在があります。

草津温泉は年間270万人が訪れる、日本を代表する温泉地です。その草津の中でも年間収容人員のトップを走り続けるために、顧客満足の向

上と、きめ細やかなサービスの徹底を心掛けています。顧客からの要望やクレームは毎朝の役員会等の議題に挙げ、迅速な対応を図ることで満足度の向上を図ってきました。こうした小さな積み重ねが評価され、観光経済新聞社が主催する「人気温泉旅館ホテル250選」に19年連続入選(2015年7月現在)、旅行新聞新社主催の「第40回プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」の全国総合5位(2019年1月)に輝きました。

顧客満足だけでなく従業員の満足度向上にも力を入れ、若い人が働きやすい職場づくりのために外部スタッフや専門家を招いて経営改革も行っています。また、社員一人ひとりの意見を経営に活かせるよう、風通しの良い職場環境を目指して取り組んでいます。

ホテル櫻井は、活力のある若い皆さんの力を必要としています。誰も踏み入れたことのない新たな地平へと共に歩む挑戦者を募ります。やる気と希望に溢れる皆様からの応募を心よりお待ちしております。



|| 会社概要 ||

設立	1963年3月
資本金	1,000万円
代表者	代表取締役 櫻井 芳樹
社員数	205名(令和4年4月1日現在) (パート・アルバイト・派遣含む)
事業内容	リゾートホテル業の経営
売上高	30億円(令和4年6月現在)



草津温泉



〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町465-4
TEL.0279-88-3211 FAX.0279-88-2153
hotel-sakurai.co.jp

- 最大収容人員/929名
- 総客室数/173室
- 浴場/男子大浴場2ヶ所・露天風呂
女子大浴場2ヶ所・露天風呂
- パブリックスペース
ロビー2ヶ所・ラウンジ・宴会場(大中小)18ヶ所
コンベンションホール2ヶ所・会議室・売店
和食処 花のれん・クラブ・カラオケボックス(大小)16室
お祭り広場ゲームコーナー・レストラン・ラーメンコーナー
屋外プール・庭園



ホテル 櫻井
オリジナルキャラクター
「さくらいっ娘」ちゃん